

# 【記入例】「退職所得の受給に関する申告書 兼 退職所得申告書」

2ヵ所以上から退職金の支払いを受ける方で、共済会よりも先に他からの支払いを受けている場合は、所定の「退職一時金・解約一時金請求書」の他、この申告書と、先に支払いがあった「退職所得の源泉徴収票・特別徴収票」(写し可)を提出してください。

退職した年を記入してください。(年度ではありません)

R4年分 退職所得の受給に関する申告書 兼 退職所得申告書	
所在地 〒464-0856 名古屋市千種区吹上二丁目6番3号 名称 公益財団法人 名古屋市中小企業共済会 法人番号 411810100151011441816	現住所 〒 退職者(被共済者)の住所 氏名 退職者(被共済者)の氏名 個人番号 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 その年1月1日現在の住所 現住所と同じなら「同上」
① 退職手当等の支払を受けることとなった年月日 R4年4月30日 ② 退職の区分等 <一般・障害の区分> 一般・障害 [ 一般 ] <生活扶助の有無> 有 [ 無 ]	③ この申告書の提出先から受ける退職手当等についての勤続期間 自 H9年5月1日 至 R4年4月30日 25年 うち 特定役員等勤続期間 有 [ 無 ] うち 一般勤続期間との重複勤続期間 有 [ 無 ] うち 短期勤続期間との重複勤続期間 有 [ 無 ] うち 短期勤続期間 有 [ 無 ]
④ 本年中に支払を受けた他の退職手当等についての勤続期間 自 H8年4月1日 至 R4年4月30日 うち 特定役員等勤続期間 有 [ 無 ] うち 短期勤続期間 有 [ 無 ]	⑤ ③と④の通算勤続期間 自 H8年4月1日 至 R4年4月30日 27年 うち 特定役員等勤続期間 有 [ 無 ] うち 一般勤続期間との重複勤続期間 有 [ 無 ] うち 短期勤続期間との重複勤続期間 有 [ 無 ] うち 全重複勤続期間 有 [ 無 ] うち 短期勤続期間 有 [ 無 ] うち 一般勤続期間との重複勤続期間 有 [ 無 ]
⑥ 前年以前4年内(その年に確定拠出年金法に基づく老齢給付金として支給される一時金の支払を受ける場合は、19年内)に退職手当等についての勤続期間 自 年 月 日 至 年 月 日	⑦ ③又は⑤の勤続期間のうち、⑥の勤続期間と重複している期間 ⑧ ④のうち、特定役員等勤続期間との重複勤続期間 有 [ 無 ] ⑨ ④のうち、短期勤続期間との重複勤続期間 有 [ 無 ]
A又はBの退職手当等についての勤続期間のうち、前に支払を受けた退職手当等についての勤続期間の全部又は一部が通算されている場合には、その通算された勤続期間等について、このD欄に記載してください。	
⑩ Aの退職手当等についての勤続期間③に通算された前の退職手当等についての勤続期間 自 年 月 日 至 年 月 日 うち 特定役員等勤続期間 有 [ 無 ] うち 短期勤続期間 有 [ 無 ]	⑪ ③又は⑤の勤続期間のうち、⑩又は⑧の勤続期間だけからなる部分の期間 ⑫ ⑩のうち、特定役員等勤続期間 有 [ 無 ] ⑬ ⑩のうち、短期勤続期間 有 [ 無 ]
⑭ Bの退職手当等についての勤続期間④に通算された前の退職手当等についての勤続期間 自 年 月 日 至 年 月 日 うち 特定役員等勤続期間 有 [ 無 ] うち 短期勤続期間 有 [ 無 ]	⑮ ⑦と⑮の通算期間 ⑯ ⑭のうち、⑧と⑮の通算期間 有 [ 無 ] ⑰ ⑭のうち、⑨と⑮の通算期間 有 [ 無 ]
B又はCの退職手当等がある場合には、このE欄にも記載してください。	
退職手当等の支払を受けた年月日 R4・4・30	
退職の区分 一般 退職者(被共済者)の氏名 退職者(被共済者)の氏名 支払者の所在地 B欄④で記載した退職手当等の支払者の所在地、名称	

12桁の個人番号(マイナンバー)を記入してください。

**A欄**  
③共済会の加入日(日にちは全て1日)と退職日を記入してください。右欄は加入期間(端数月は切上)

**B欄**  
⑤「③」と「④」の勤続期間で長い方(重複していない期間があれば加算する。)を記入してください。右欄はその通算期間(端数月は切上)

**C欄**  
④退職した年に共済会より先に支払いを受けた「退職所得の源泉徴収票・特別徴収票」より記入してください。

**E欄**  
先に支払いを受けた全ての退職手当の内容を「退職所得の源泉徴収票・特別徴収票」より記入し、その写しを添付してください。